

定例市長記者会見録

日 時：6月23日(火) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞

(市長)

6月の記者会見ということでお集まりいただき、ありがとうございました。今日は、項目としては資料No.1から5までをご用意させていただいております。順番にご説明申し上げます。

まず、No.1、ひとり一律10万円の特別定額給付金の支給状況でございます。名古屋市さんが低迷されていると報道されていますが、やはり純粋に人口規模が大きいところはそれに比例して、なかなか大変な状況になるわけでありまして。我々一宮市としても、人口が30万人を超えている岡崎、春日井、豊田、豊橋、こういったところと比べて見劣りしないように、進めたいということで頑張っております。まずはオンラインということで、マイナンバーカードを使った申請を5月11日から受け付けました。マイナンバーカードを使って申請はできるんですけど、業務にマイナンバーは使えないものですから、総務省の外郭団体であるJ-LISというところからもらったデータを市役所でプリントアウトして作業するという対応で、一宮市内では4,693件処理をしております。郵送の申請の方は、ひとり親世帯ということで、これは住民基本台帳上、抜き出しが比較的容易なものですから、5月18日から交付申請を受け付けるということで申請書を先に郵送しましたところ、9割を超えるご家庭から申請をいただきまして、3,869件振り込みが終わっております。郵送の申請につきましては、144,564件ということで、全体では93.9%を私どもとしては受け取っております。振込件数については、火曜日と金曜日で週2回振り込んでいますけれども、今度の26日金曜日に振り込む分を入れますと、ようやく85.2%ということで、9割近くが見えてきたかなという状況です。件数ベースで85%、金額ベースで87.8%という状況です。金額ベースの方が大きく出ているということは、世帯の人数が大きいところからは多くの申請ができています。逆に、世帯の人数が少ない、ひとり暮らしの——想像するに、独居老人のような方たちの申請が遅れているのではないかということが危ぶまれるものです。この次の段階で、できるだけ早い時期に、残りのまだ申請が出てきていない6.6%ほどの方たちを対象に再プッシュということ、どういうふうにするか検討を始めているところです。イメージですけど、世帯で3人暮らし、4人暮らしですと、「お父さん、早く申請してよ。」って誰か言ったりするんでしょうけれど、ひとり暮らしですとそういうシチュエーションがないものですから、もう一度そういったところ、せつかくの機会、せつかくの権利として国が用意した枠組みを死蔵させることがないように、再プッシュをしようということで、今、

再プッシュ策も検討を始めているところです。以上が特別定額給付金の給付状況でございます。

資料No.2に入りますけれども、緊急経済対策の振込状況、支給状況をまとめた資料です。2-1は経済分野になりますが、表の枠組み3段の内、一番左側が愛知県と一宮市で協力して行いました休業協力金、1件当たり50万円というものでございます。1,810件を受け付けてまして、1,717件を振り込みということで、だいたい2週間を目途に振り込みまして順調に進んでおります。真ん中の段が市独自の休業協力金で、よくメディアの方たちにモーニング文化を合わせて喫茶店、昼間営業のところの10万円として取り上げていただきましたけれども、こちら670件を受け付けてまして、651件の振り込みが終わっております。一番右側が、市独自の持続化給付金ですが、基本的にはまだ、今、国の制度が使えれば絶対そちらの方が有利なので、そちらの方をご覧になっている方が多いのではないかと思います。まだ、一宮市としての独自の持続化給付金の方は、65件ほどの受け付けに留まっているという状況でございます。ある特定の月が前年と比べて5割以上減っていれば国の制度が使えますので、そちらの方を見ながら使われているんだろうなということでしょうが、5割行かなくても4割減、3割減でも、一宮市から法人10万円が限度でありますけれども、持続化給付金ということで用意をさせていただいております。こちらは年内、市の持続化給付金は年内応募できますけれども、休業協力金の方は、申請期限が今月いっぱい、6月30日までということですので、こちら商工会議所などを通じて、もう一度呼びかけを行いたいと考えています。

続いて2-2ですけれども、こちらは小中学校に関する緊急経済対策で、一宮市小中学生給付金と就学支援が必要な世帯への昼食費の支援ということで予算を組んでおりました。こちら、一宮市小中学生給付金の方は1人当たり5,000円を支給ということで、6月22日までに振り込みを完了しております。これは、一宮市立の学校に通われる方だけではなく、私立に通われているお子さんに対しても支払うということで、私立の学校は559件を受け付けて、279万5,000円をお支払いしました。就学支援が必要な世帯への昼食費の支援は、給食がなかったということがあり、生活保護を受けていらっしゃる方、また、それよりは少し収入がある方、約1割の児童生徒が対象となっておりますが、1食当たり300円の支援です。どの時点で認定されたかで個人によってそれぞれ振り込む金額が違うものですから、振り込みのオンラインの準備に少し時間がかかっておりましたが、来月7月上旬に就学援助の登録口座の方へ振り込みをさせていただきます。以上が、緊急経済対策として発表しておりました予算の執行状況について、ございました。

資料No.3に入りますけれども、こちら「新たな生活様式」ということで、現金をさわるとウイルスがついているかわからないという心配もあるようで、よりキャッシュレスを進めようと、国の方も旗を振っております。我々も、そういった市民の心配に応えるべく、非対面の納付方法を拡大しようということで、スマホのアプリで「PayPay」と「LINE Pay」この2つのアプリに対応した形で、一宮市の税金を納める方法として追加をさせてい

ただくものです。利用方法については、市役所から市民の皆さまに納付書を郵送しますが、その納付書にコンビニへ持っていった時に、ピッと店員の方が読み取るバーコードがあります。そちらを市民の方が、ご自身のスマホにインストールしたアプリの「Pay Pay」や「LINE Pay」で読み込んでいただければ、お支払いができるというものでございます。県内の状況としては、今年度から既に春日井市さんと半田市さんが、同じく「Pay Pay」と「LINE Pay」、豊橋市さんも「LINE Pay」を導入されております。一宮市は県内で4例目、4市目ということで、西尾張地域では初めてという状況になっております。契約と予算措置については、コンビニエンスストアの収納につきましても、三菱UFJニコスさんに代行業務を委託しておりますが、この下に「Pay Pay」と「LINE Pay」が、ぶら下がる形態になりますので、新しく予算措置の必要なく対応できます。先行するスマホアプリとしては、「Pay B」について、去年の6月から導入をしましたが、こちらは去年の6月に、市役所から市民の皆さまに納税通知書を送る段階で周知できていなかったこともあり、令和元年度分の「Pay B」の実績としては、市税国保税合わせて77件、金額で256万円程度でしたが、今年度、令和2年に入ってから、「Pay B」だけでもすごく使われておまして、4月の1カ月で市税1,022万5,500円分、1カ月間で1,000万超の納税を「Pay B」でしていただいております。今回、「Pay Pay」「LINE Pay」合わせて、1%行かなくても0.5%の利用率でも6,000件ほどですので、それぐらいは市民の皆様に使っていただけるんじゃないかということで、我々は見込んでいるところでございます。

では、資料No.4に行きます。令和2年度一宮市総合防災訓練の中止について、でございます。毎年、8月の最終日曜日に総合防災訓練を、九品地公園競技場に集まっていただいて、各種団体で、医師会さん、建設業の協会さん、大手インフラ企業さんで、電力会社さん、ガス会社さん、そういった特に大手企業は人事異動が早いのですが、皆、顔を合わせ、顔つなぎという意味でも非常にいい場所であったのですが、同じようにやっているのは、三密を避けることができないということで、今年度は中止をさせていただきます。ただ、総合防災訓練は中止しますけれども、当然、コロナウイルスを意識した”新しい生活様式”としての避難所の運営はどうなんだということで、豊橋市さんは先行してやられておりますけれども、我々一宮市でも、非接触化のための物品を調達し、現物がいろいろある方がいいだろうということで、今少し時間がかかっていますが、早い段階で避難所運営訓練をやりたいということで準備をしております。

資料No.4 - 2ですけれども、秋の敬老会と金婚記念祝賀式、こちらそれぞれ中止をさせていただきます。やはりコロナウイルス、特にお年を召された方が罹患した場合、重篤率が高いということもありますので、このそれぞれの行事を今年度は中止ということにいたします。

最後、資料No.5になりますけれども、こちらも毎年、私の資産報告書ということで公開をさせていただきます。特別大きく増えたり減ったりすることはありませんが、チェック、

ご確認くださいと思います。

質疑応答

■特別定額給付金（ひとり一律10万円）の実施状況

（記者）申込を受けてから、実際に振込むまでに何日くらいかかるのですか？

受付開始時期によって違うとは思いますが。

（市長）10日余りで約束していましたが、14日間くらいかかっている時もありました。

■市感染症対策協力金（市独自休業協力金）

（記者）受け付けられた670件のうちの多くが喫茶店ですか？

（担当）そういう訳では、ありません。喫茶店にスポットが当たっていますが、喫茶店以外でも、県の条件から外れてしまって、休業の期間が少ししかできないというところも対象としています。

（記者）業種でいうと、喫茶店以外で、例えば居酒屋とか、どういう業種が多いですか？

（担当）もう、全ていろんな業種です。この中には、理美容業が入っています。

（記者）理美容業は県が対象に入れてしまいましたが、理美容業の方に協力金をお出しになったのは、県の対象外になっているところでしたよね？

（市長）4月24日の記者会見では、そう発表したのですが、その後、県でも、組合に入っていないところも対象に入っていたものですから、我々も県の発表に乗りました。

（記者）そうすると、理美容業の方に出している10万円については、県からももらっている場合があるということですか？

（担当）市からも県からも10万円をもらっている場合もあります。市と県それぞれに申請しています。

（記者）一宮市の理美容業の方だと、20万円になるけど、他の自治体では10万円のところもあるということですね。

（市長）そうですね。理美容は、協力していない市もありました。

（担当）最終的には、ほとんどの市町村が対象としました。

（記者）全国的なコロナ禍で倒産など相次ぐと視野に入れた場合、そういう支援についてはどうでしょうか？

（市長）影響が出てくるのはこれからでしょう。いろんなセーフティーネットを張っておくのは大事だろうということで、会社が倒産したとか仕事がなくなって社宅を出たような人たちに、社会福祉協議会で行っている貸付では対応できない場合に備えて、今月初めに市営住宅をいくつか確保したんですけれども、まだ使われていませ

ん。悪影響が目に見える形では出てきていないというのは、救いですが、これから出てくるかもしれないということで備えだけは行います。

(記者) 繊維関係はいかがでしょうか？

(市長) レナウンの倒産が報道されているように業界は厳しいと思いますけれども、この地域で企業が倒産というのは、まだ把握しておりません。

■ 一宮市小中学生給付金の交付状況

(記者) この給付金は、ほとんどの世帯にいきわたっているのですか？

(市長) 一宮市内の申請がいない小中学校児童生徒分は全て振込みました。

(記者) これは個別に申し込まなくても振り込んでもらったのですか？

(市長) そうです。申請がなくても、給食費の口座に振込ませていただいております。

(記者) その口座に振込むことへの、保護者の承諾を取ることや、承諾書の送付などはせずに振込ということですか？

(市長) そうです。

(記者) これは、100%支給されているのですか？

(担当) 給食費の引落とし口座を持っている方は100%ですが、給食費口座を使っていない方で、申請がまだの方への支給は完了しておりません。

(記者) それを含めて、今何パーセントぐらいの支給ですか？

(担当) 私立・公立を含めて、98.7%です。

(記者) 31,445件と559件を足して、全児童・生徒数で割ると98.7%ですね。

(副市長) おひとり辞退の方もみえました。

(記者) むしろ辞退者は申請が必要ですね。

■ 新型コロナウイルス支援策に係る事務作業

(記者) 特別定額給付金だけでなくさまざまな経済支援策があつて、事務作業がいろいろあると思うのですが、この中で業者に委託しているのはどれでしょうか？

(市長) 特別定額給付金は近畿日本ツーリストさんに委託していますけれど、他にはありません。

(記者) その場合、市の臨時職員を集めてやってらっしゃるのか、新たに人を雇ってらっしゃるのか、いかがでしょうか？

(担当) 商工観光課ですと、経済部の中でプロジェクトチームをつくり、部のなかで他課に応援を頼んでいきます。加えて、七夕まつりが中止になりましたので、その分の臨時職員を充てて対応しています。正規職員についても七夕に係る業務が減っておりますので、同様です。臨時職員は新たに雇用したのではなく、七夕でもともと雇う予定であったものです。

(記者) 何人くらい、いらっしゃるんですか？

(担当) 2人です。メインで行っているわけではなく、七夕の業務を行いつつ、空いた時間にやっただけという事です。

(記者) 他の部署は、いかがでしょうか？

(担当) 小中学生給付金と就学支援が必要な世帯への昼食費の支援につきましては、職員のみで対応しております。

(記者) そうなると、小中学生給付金でも、職員が残業するような状況だったのですか？

(担当) 多少は行いましたが、あまり残業をしなくて済むように給食費口座を利用しましたので、それほど影響はありませんでした。

(担当) 昼食費については、もともと7月下旬に就学援助費を渡すところでの過程ですので、それほど大きな作業ではございません。

(記者) 特別定額給付金の事務について、他市によっては、職員をかき集めたり、あるいは臨時職員、アルバイト、苦学生アルバイトを雇っているところもあります。一宮市は、特別定額給付金の事務を自前で行わずに委託したというのは、どういうお考えで委託にされたのですか？

(市長) 昨年のプレミアム商品券を、近畿日本ツーリストさんに委託しました。商工会議所さんに聞いても、しっかりやってもらえたということでしたし、官民の役割分担という意味で、柔軟に迅速にという意味では、大手企業なら対応してくれるだろうということで、今回お願いしました。

(記者) 受付件数が93%に達したことについて、市長の評価はどうでしょうか？

(市長) 評価は、まだこれからですね。スピードを重視しすぎたあまり、申請の送付先を近畿日本ツーリストさんにした事について、日ごろからお年寄りには「詐欺に気を付けて。」と言っていたことからすると、少し思いが及ばなかったという反省点がありました。メディアに取り上げていただいたおかげで申請がたくさん出てきますし、受託先の企業の皆さんにも頑張っていただきまして、こうして受付件数が伸びていますので、柔軟に対応するという意味では、民間に力を借りて、今のところは確実に進捗できたと評価しています。

(記者) 自前でやっていたら、もうちょっと掛かっていたということですか。

(市長) やはりかかると思います。他の同規模市でも、今日の振込が5月の申請受付分の市もあります。受け付けてから処理するのに何週間か、1か月かかると最初から言っている市もあります。現在、一宮市では10日から2週間かかっていますが、比較的早くできているというのは、民間企業の力をお借りしたおかげだと思います。

一宮市の職員も市民の相談を受けたり、電話応対をしていて、職員も感覚を分かっています。オンライン申請やひとり親世帯の先行申請で職員が手作業でデータベ

ース化の処理もして、間違いやすい箇所や手間取りやすい箇所を分かったうえで事業者に委託していますので、そういう意味で丸投げにならないように、指揮監督ということで連携がとれている。そんなにおかしなことにはならないだろうということで、この方式を採用しました。

■電子マネー

(記者) この件について、コロナ禍があって話を早めたということはあったのでしょうか？

(市長) コロナもありましたけれど、もともとは4年前にまずマナカ、交通系電子マネーを一番早くやらせてもらって、出来るだけキャッシュレスを進めていこうということを書いてました。半田市さんなどに抜かれましたが、我々としても、こういうことをどんどんやっけていこうと準備していました。

(記者) お金もかからないし、導入は簡単そうに見えますが、時間がかかったのは、いろいろ調整があったのですか？

(担当) 収納代行業者のシステム構築に時間が必要でした。長期間にわたりお願いし、ようやく今回できたということです。

■市長の資産等報告書等の公開

(記者) 東京に家をお持ちですが、一宮市のお住まいは借り物ですか？

(市長) 借りています。

(記者) 東京の家は、東京にお勤めの時に、買ったのですか？

(市長) 総務省で働いているときに、購入しました。家の一部を他人に貸しているので、不動産所得が上がっています。

(記者) ここに書かれている、800万円余の金額は何ですか？路線価ですか？

(市長) 固定資産税の評価額です。